

春 迎



東白川

発行
岐阜県加茂郡
東白川村公民館
印刷所
今井印刷所

新年お芽出とうございま

す。村内の皆様、健康で佳き年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

昭和三十八年四月、皆様平素の御厚情と御信任をいたゞき、四期当選の光栄に浴し

終生忘れ得ぬ感激の年であると共



頭二
年詞一

豊かて明るい郷土の建設へ

東白川村長 河田 勘市

の責任の重大なるを感じ、村政発展のため努力し皆様のご期待に應えるべく新しき年と共に決意を新たに致した次第でございます。

豪雪に明けた昭和三十八年、雪は豊年の瑞兆といわれますが、夏期の長雨による悪条件の下、一部の被害を見たもの、農産業は順調に伸びてきたことは、農家の皆さんの研究努力に依るもので感謝に堪えません。

農業基本法の制定に次いで今次国会に提出されんとする林業構造改善事業の推進により、今後本村の森林業経営の躍進を期待するものであります。

健康で明るい村づくりを打出して十数年、住民福祉

の増進を図ることが最も重要であることにかんがみ、保健行政の向上に努力して来たのであります。成人病予防対策、結核一般検診等漸く軌道にのり、予防と

共に医療設備の完備も成り本村唯一の医療機関である東白川病院も、岐阜医大の深い理解によつて優秀な医師三名を迎え、病理検査室も漸次充実し其の機能を十分に發揮できる態勢を整えたのであります。

保養と療養を兼ねた理想の病棟増築及診療棟の改築と母子センターの建設等、施設に拡充整備によつて健康にして明るい村造りを念じて居ります。

日本人の寿命は最近統計的に大変延びて参り、ご老人は家を興し社会公共のために貢献せられた努力に常に感謝して居るのですが、国においては老人福祉法が制定され、之に基いて越原下区長寿会老人クラブの結成をみたことは慶賀に堪えません。我々はご老人に感謝すると共に、いつつま

でも健康で百歳以上の長寿を保つていただきたい事を念願するものであります。豊かな教養を基づけ健康を護るために十数年前から婦人会の皆さんによつて生れた小鳩会は、その後厚生省のへき地保育所に発展したのであります。幼児保育の充実を図るため、保育園の設置は多年夢望された問題でありまして、村民皆さんの協力により国の定むる東白川保育園実現の運びとなり、四月入園を目指して完成を急いでいます。

老いも若きも一緒になつて健康で明るい円満な家庭よき村造りをしたいものです。教育は人造り国造りの基本であり、学校教育と社会教育の充実によつて其の實が挙るものですが、理想とする中学校一校一校の実現を見、技術家庭科、ホール

の建築並に教室の増築が完了したことは喜びに堪えません。更に村内各学校の充実を図つて、教育効果を挙げ、財源不如意ではありませんが、幸いにして教育熱心な校下皆

さん卒業生の皆さんの麗しい御厚意を寄せていただいたりしております。また婦人会活動婦人学級、青年学級等自主的運営によつてその効果を収めて戴き誠に心強く感じている処であります。

産業経済文化の進展は道路であり、四十五軒に及ぶ林道を結んで農道の開設と村内道路網の拡充によつて其の利益する処大であります。が、多年宿望の白川街道主要地方道昇格は四月発表が予定され、村内一、九一五米の軽舗装工事は年末決定を見、加子母白川口間全舗装道路の実現も間近にして国道四十一号線の完成と共に名古屋及岐阜への時間短縮がされるのであります。

また白川口駅踏線橋建設は数年来関係町村が要望してきた問題でありましたが、今春早々着工、六、七月頃には完成の喜びを迎える事と存じます。

斯くの如く昭和三十八年に於ける歩みを眺めてみま

す時、よき村造りへと一歩前進しつゝあり、皆さんの郷土愛に燃ゆる尊い御協力がうかがわれ感謝に堪えません。

どうか新しい年と共に一層の御協力賜りますことを乞ひ願ひ年頭の詞と致します。

1 昭和37年度
9万円に満た
(1) 減額例
164円(被
820円
世帯別平等
①492円+

2 昭和37年度
金額が、次
算定方法 9
(1) 減額例
90,000+
この場合
あり、算
の対象と
い場合は
164円(被保
均等割額)×
世帯別平等
③328円+③3

1 昭和37年度の総所得金額及び退職所得の金額の合算額が9万円に満たない世帯

(1) 減額例 被保険者5名の世帯の場合
 $164円 \times (\text{被保険者1人当たり均等割額}) \times 5 = 820円$
 $820円 \times \frac{6}{10} = 492円 \cdots \text{㊶ 減額する額}$
 世帯別平等割額 = $800円 \times \frac{6}{10} = 480円 \cdots \text{㊷ 減額する額}$
 $\text{㊶} 492円 + \text{㊷} 480円 = 972円 \cdots \text{昭和38年度保険料の納付すべき額より減額する額}$

2 昭和37年度の総所得金額、山林所得の金額及び退職所得の金額が、次の算定によつて算出した金額に満たない世帯
 算定方法 9万円 (村民税基礎控除額) + (世帯主を除く被保険者数 $\times$ 1万5千円)

(1) 減額例 被保険者5名で所得の合算額が14万円の場合
 $90,000 + (4 \times 15,000) = 150,000円 \cdots \text{算定基準額}$
 この場合、算定基準額が15万円で所得の合算額が14万であり、算定基準額より所得の合算額の方が少ないので減額の対象となります。(算定基準額より所得の合算の方が多い場合は対象とならない)

164円(被保険者1人当たり均等割額) $\times 5 = 820円$
 $820円 \times \frac{4}{10} = 328円 \cdots \text{㊸ 減額する額}$
 世帯別平等割額 = $800円 \times \frac{4}{10} = 320円$
 $\text{㊸} 328円 + \text{㊹} 320円 = 648円 \cdots \text{38年度保険料として納付すべき額より減額する額}$

現金収入の道を

東白川村商工会長 田口庄之助

昭和三十八年はすぎ去り、昭和三十九年はまだ去りません。一月二月は豪雪、五月六月は長雨、九月は冷害、麦は全滅、稲作は二割減収、茶も又三割減収、豪雪と長雨で屋外作業は長期に亘り休止のやむなき日が続く、加えて物価高に山村の経済は少なからぬ打撃をうけ、どうみても良い年ではなかつたと思います。戦後の物質文化は山間避に浸透し、金さえあれば文化生活の恩恵に浴せられる世の中になりましたが、毎日毎日相当な現金がなければ生活が出来ない社会となつて、各家庭もその職業の如何によつて経済負担にかなりの格差が生じてきたと思います。

都市近郊又は交通に便利な鉄道、国道沿線の農家や零細な商業者は三ちゃん農家、爺ヒストアと云われながらも、一家の働き手はサラリーマンとして会社工場等へ通勤し、毎月確実な現金収入の道を選んでいるのが現状であります。

当村のように村に大きい工場や会社が少く、都市へ通勤できない土地では如何にして現金収入を高め、時代に遅れない文化生活に浴し幸福な楽しい家庭生活を営むかということに多くの人が頭を悩ます問題だと思っています。

今や都市では青少年はもとより、健康な中、高年令層までの求人多数望んでいます。しかし山村の生活は苦しいと云つても、住みなれた村、生れた故郷を後に一家をあげて都市に引越していくことは仲々至難な問題だと思います。

そこで私達の仕事、家業を考へてみますと米麦農家としては増産の技術もほぼ限界に達し、又物品販売を営む商人も消費人口から考へ、売上高の増加も頭打ちの状態ではないかと考へます。

もしそうだとすれば如何なる道を選んで村外からの現金収入の増加を図るか皆さまで共に考へてみたいと思います。

国道四十一号線も二、三年の中には開通の見通しであり、この機に乗じて下請

工業の誘致、木工業の振興、工芸品の試作、繊維加工の請負等努力如何によつてはいづれも有望にして実現可能な仕事だと思っています。

商工会は昨年中に村の応援を得て、県立高山工芸試験場から技師を招いて数回の講演会と工場、作業場の実地指導を受けました。

今や農家の青年層の方々にも此の方面に対する関心が高まりつゝあることは本村産業の将来に対し誠に喜ばしい事と存じます。

既に村のあちこちでさまやかながら木工所が産声をあげています。もつと幾つも自分で、或はグループで小さくても何かを造る仕事、何かを加工する職場を始めて頂きたい。そして近所の友達、奥さん、おばさんにも一緒に働いてもらつて下さい。

小さくても工場のモーターの音が、かすかでも加工場のミシンの音がどんなにか明るい村の暁の光として朗かに響き渡ることでしょう。

なにを始めるにも先立つものは金だ、資本だと思ふのが人情ですが、素人が始めから大きい資本を持つてかゝれば返つて失敗が多いと思います。何よりも大切

なことはたゆまざる努力、人一倍の研究にあると思ひます。

当商工会は与えられた使命として、昭和三十九年度一申上げます。

恒例『出初式』終る

東白川村消防団

恒例の消防団出初式が一月七日午前九時三〇分から神土小学校々庭に於いて盛大に挙行されました。

当日は、県及び郡内の来賓多数が列席のもとに、伊藤團長以下二百有余名の団員が果敢な訓練ぶりを披露しました。

なお当日の消防団出初式で表彰された優良団員は次のとおりです。

△県知事表彰(十年勤続)

安江 優

今井克彦

小倉正巳

△県消防協会長功績章

本部

訓練部長 小池敬三

予防部長 村雲 忍

ポンプ部長 中島清己

△郡消防協会長表彰

第一分団

訓練部長 安江重利

ポンプ部長 安江ちゆう次

班 長 田口 穰

第二分団

△東白川村消防団長感謝状

本部

今井 哲

△東白川村消防団長表彰

第一分団

中村十美、伊藤 勉

河田広道、早瀬新二

安江利勝、安江一美

村雲忠雄、沢木嘉康

第二分団

桂川隆一郎、加藤功雄

熊崎喜十、今井福夫

井戸鉄夫

第三分団

桂川国男、田口和昭

羽川清吾、荻田良平

第四分団

安江敏宏、熊沢英治

三戸すな夫、安江正介

△東白川村長感謝状

安江 只文

下野 組

△東白川村長表彰状

第二分団

訓練部長 熊崎 進

ポンプ要員 田口光夫

田口幸男

今井幸吉

今井佳一

第三分団

ポンプ要員 安江亮次

村雲忠孝

安江芳也

荻田甲子郎

荻田良平

△東白川村消防団長表彰

本部

今井 哲

第一分団

中村十美、伊藤 勉

河田広道、早瀬新二

安江利勝、安江一美

村雲忠雄、沢木嘉康

第二分団

桂川隆一郎、加藤功雄

熊崎喜十、今井福夫

井戸鉄夫

第三分団

桂川国男、田口和昭

羽川清吾、荻田良平

第四分団

安江敏宏、熊沢英治

三戸すな夫、安江正介

△東白川村長感謝状

安江 只文

下野 組

△東白川村長表彰状

第二分団

訓練部長 熊崎 進

ポンプ要員 田口光夫

田口幸男

今井幸吉

今井佳一

第三分団

ポンプ要員 安江亮次

村雲忠孝

安江芳也

荻田甲子郎

荻田良平

△東白川村消防団長感謝状

も明日に幸福を得ようとす人であらう。

よくある話で、老人が山の木を一生懸命に植えていたのを見て「こんなに骨折つて植えても、あなたの一生のうちには物になりませんよ」と傍人が笑う。それは知つて居る。だが、孫や子はきつとその利益を得るであらう」と……全く明日に生きる人々に対する老人の気迫に心打たれる。

話は現代に移るが、今日われわれが科学を歩進させ物質文明のおかげを蒙つて実が高い文化の中に住んでいる。これは祖先から来た恩恵である。つまりその恩恵が、われわれの血となり肉となつていことだ。

こう考へると、われわれも自分のエネルギーを自分の今日眼前の幸福のためのみに使い捨ては相すまぬように思う。明日、明後日に生きるための糧だけはのこしたいものである。今日だけが、われわれの全部ではない。明日も明後日もあると云うことを忘れずに。

新春
ろばた
放談

われわれの仲間には、今日に生きる人と、明日に生きる人との二通りがあるように思う。お酒をのんで楽しむ廻つたりして、明日のことは何とかなるだろうなとたかをくくっている人は今日に生きる人である。一生懸命働き勉強し、将来に為成すようつとめている人は、今日は少々我慢して



「長寿会」が発足

会員は一二一名

越原下区老人クラブ（以下略）
越原下区のお年寄りによ
つて老人クラブが結成され
去る十二月十八日越原小学
校でその結成総会が行なわ
れました。

このお年寄り一二一人の
方々は、心身共に健康であ
つてより積極的に豊かな知
識と経歴を身につけ、それ
を社会活動に役立てようと
するもので、越原下区長寿
会という名称で発足しまし
た。

総会のあと、村長さん、
加茂福祉事務所長さん、村
議会議員さんからお祝いの
言葉があり、仲良く風食を
共にした後午後からは竹原



（写真は老人クラブ結成式）

この日は一般の人々も成
人の日の意義を認め、成人
となつた青年に祝福と激励
のことばを寄せ、国民の祝
日としてお祝いしております。
めでたく成人に達した青
年諸君はこの新しい人生の
門出を公民としての権利と
それに伴う義務を自覚し、
かりそめにもこの成人式の
行事が華美な服装を競う場

1月15日は「成人の日」 村内該当者は一九名

一月十五日は「成人の日」
となつたりしないよう、青
年自らの手で、簡素にして
積極的な意義ある日となる
ようにすることが大切では
なからうかと思ひます。

成人の日はおとなにな
つたことを自覚し、みづか
ら生き抜こうとする青年を
祝ひはげます日。（国民の
祝日に関する法律第二条）
として、昭和二十三年に制
定されてからことしで十七
年目を迎えます。

成人の日は祝ひ記念する意
味で、貸切バスによる行事
が計画されております。

山林緑化にと参拾万円

五加 今井悦次郎さんが寄贈

去る十二月二十五日、緑化功労者として表彰を
受けるなど、山林緑化に
東白川村五加の製材業今
井悦次郎さんが、山林基
礎に資金の一おられる有
本財産に参拾万円を河田
部にと金参拾万円を河田
村長に寄託されました。
今井さんは永年山林緑
化に尽力し、昨年五月には

青年演劇発表会

1月26日に予定

東白川青年団では恒例の
事業の一つである青年演劇
発表会をことしも行うこと
になり、十二月ははじめから
その準備を進めております
今年度は美濃加茂市で開催
される県大会出場を目標に
意欲的に研究しており、そ
の成果が期待されていま
す。なお発表会の期日は、中
濃大会、県大会が早いため
それ以前に行うことになり
例年より一ヶ月以上早い一
月二十六日の日曜日に予定
され、五つの劇が上演され
その中から中濃大会、県大
会へ出る劇が決められるこ
とになつていきます。

ねんきん

満二十才を迎えられるみなさんは最初の節である。二十才になつたからといって、この節が実社会のスタートラインです。みなさんはこれからあなたがたが立派な社会人として、権利を得、義務を負われることになつたので、人生には（男子の場合）竹のような次の五つの節があります。

- 一、二十才になつた時
- 二、二十五才の厄年
- 三、四十二才の厄年
- 四、喜寿の七十七才
- 五、米寿の八十八才

二十才になられる方々に、期限は満二十才になつてから二十日以内といふことになつていきますので、忘れず加入の届出をしましなう。

勿論、その他の回線の問い合わせや、余り急を要しない用件についての通話遠慮すること。

電話は手際よく

要点は明確に……

火急の場合の



器のスイッチをたたく。普通の通話の場合は絶対にスイッチをガチャガチャさせないこと。

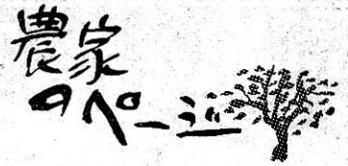
② その回線が話し中の時は大声で「火事」又は「急病」とかを告げる。その時話し中の方は直ちに受話器をかけること。

③ 緊急電話をかける人はその事故現場、状況等を明確に話すこと。

④ 事故に近い同一回線は他町村から東白川村へ転入された方は、十四日以内に転入届をして下さい。

祝祭日には国旗を掲げましょう

① 緊急の場合は放送中、時間外にかゝらず受話



稲作

長期予報をもつと農業経営へ

今年も凶作型の天候

歴史を害を最少限度に防ぐことは、
ふりかえりてみる
ことしの長期予報は凶作
と農業技術のすべり
ては気象と戦い続
けています。
去年は一月から七〇年ぶ
りの大雪が降り、六、七月
にかけて長雨、日照不足が
続き八月から十月にかけて
異常低温となり、作物にと
つてはこの上もない不良天
候の連続でした。

このような悪条件は、十
年に一回位の割合でみられ
ますが、去年は春からの長
期予報でこの凶作型の
天候を察知し警報が出
されていましたが、各
農家対策が樹てられ
ていなかったことは反
省しなければならぬ
し、もと長期予報、気
象予報を農業経営にと
り入れる必要がある。

例えは品種の選択、
苗代様式、施肥、灌排
水など凶作型の天候の
場合と豊作型の天候の
場合ではおのずと作業
技術を変えなくてはな
りません。

本田では未熟堆肥、レン
ゲ、鶏糞の多量活用で活
が妨げられ、生育の遅れに
葉イモチ病がつけ込んで異
常発生をみました。
メイ虫は平年の約三倍の
発生と一ヶ月も早く発生を
見たことも特長の一つでし

たが、防除が徹底していた
こと、多雨と草出来不良
で被害は少なかつた。
七月に入り天候も平年並
に回復したが、生育は遅れ
特に早生品種や穂重型品種
では莖数不足が目立つた。
八月に入ってから日照
は増したが低温と生育の遅
れで出穂、成熟は七日から
十日以上も遅れ、中には九
月十日頃に出穂して穂前
期に低温にあい、生育の遅
延型の冷害、青立ちが多く
なつた。これは標高が高く
なる程、又冷水田に多く、

その他の所でも青米、層米
が増加した。
イモチ病も近年にない発
生で、遅効性有機肥料を
使用された水田では、スリ
コミ型の葉イモチとなり一
層生育を遅らし、更に穂首
枝梗、穀イモチが出て耐病
性品種間の差が大きかつた
ことを考えると、品種の選
択統一が重要であることが
再認識された。
品種の選択上反省すべき
ことは、過去の豊作に迷わ
され短程、多収品種に重点
が置かれていたことにも冷
ちする程作柄が出来なかつ

たのが原因している。
水のかけ引きも豊作型と
変りなかつたことも益々青
立ちを助長させたが、今後
はビニールパイプを利用す
るとか、水もちを良くし、
気温の低い時の水のかけ流
しは厳禁しなければならぬ
い。秋ウシカ、カメムシの
発生も年々増加しているの
で最後の防除まで実施しな
いと米質を低下させる。
収穫は極端な気温低下に
よつて早く成熟しないため
早刈りが目立ちそれにより
青米が多く、質の低下と減
収を一層助長させた事も忘
れられない。今年も去年に
続いて凶作型の予報が出て
おり、去年の苦い経験を生
かして稲作の被害を最少限
度にくい止めたいものでは
ある。

養蚕 協業経営のすゝめ

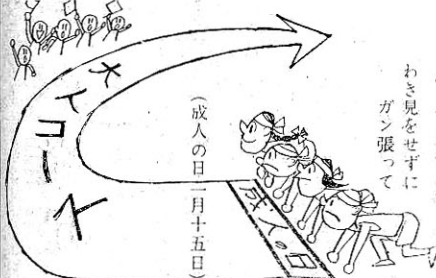
時間当り三百〜四百円

養蚕の協業経営は、集団
養蚕の造成と飼育施設を設
置して一昨年から始めたも
ので、すでに数回の飼育蚕
期を経過しその基礎もよう
やく固りつつあります。
今後集団養蚕を造成して
完全協業経営（桑作、育蚕
販売）の出来る体制にある
のは四ヶ所、すでに完全協
業経営を実施している所は
二ヶ所ありますが、今後益
々協業経営を発展させる上
に大切な二、三の点につい
て考えてみましょう。

村内の各集団養蚕は現在
のところまだその水準に達
してないが、各桑園とも
適応した肥培管理を積極的
に行つているので近いうち
にはその水準に達すること
になる。協業経営の収益
性を高めるには土地の生
産性を高めて総収量の増
大をはかることが絶対必要
である。

次に労働生産性の水準で
あるが、今年の実績によれ
ば、上藩三、七五K当り九
時間三〇分、一人当り受持
箱数は四箱（四〇g）であ
る。しかし協業経営である
以上、少くとも一人当りの
受持箱が八箱ないし十箱程
度の水準まで高める必要が
ある。

育蚕施設は、木造、鉄骨
などいづれでも結構だが大
量飼育と作業能率を上げる
ことのできる、いわゆる簡
易施設が望ましい。



桑園の造成と飼育施設を設
置して一昨年から始めたも
ので、すでに数回の飼育蚕
期を経過しその基礎もよう
やく固りつつあります。
今後集団養蚕を造成して
完全協業経営（桑作、育蚕
販売）の出来る体制にある
のは四ヶ所、すでに完全協
業経営を実施している所は
二ヶ所ありますが、今後益
々協業経営を発展させる上
に大切な二、三の点につい
て考えてみましょう。

村内の各集団養蚕は現在
のところまだその水準に達
してないが、各桑園とも
適応した肥培管理を積極的
に行つているので近いうち
にはその水準に達すること
になる。協業経営の収益
性を高めるには土地の生
産性を高めて総収量の増
大をはかることが絶対必要
である。

次に労働生産性の水準で
あるが、今年の実績によれ
ば、上藩三、七五K当り九
時間三〇分、一人当り受持
箱数は四箱（四〇g）であ
る。しかし協業経営である
以上、少くとも一人当りの
受持箱が八箱ないし十箱程
度の水準まで高める必要が
ある。

育蚕施設は、木造、鉄骨
などいづれでも結構だが大
量飼育と作業能率を上げる
ことのできる、いわゆる簡
易施設が望ましい。

謹賀新年

1964年元旦

白川東報編集室